

メリルリンチ・ウェルス・マネジメントとキャップジェミニが
「第4回アジア太平洋地域ウェルス・レポート」を発表

アジア太平洋地域の富裕層人口は前年比 **14.2%**減少したが、
2018 年までの展望では、富裕層の保有資産は年率 **8.8%**成長を予測

日本の富裕層人口は **9.9%**減少
日本は引き続き、アジア太平洋地域において最大の富裕層市場を形成

東京 **2009** 年 **10** 月 **13** 日 – メリルリンチ・ウェルス・マネジメントおよびキャップジェミニが本日発表した「**2009** 年アジア太平洋地域ウェルス・レポート」によれば、**2008** 年末時点での日本の富裕層¹人口は **137** 万人と推定され、一年前に比べ **9.9%**減少した。また、日本の富裕層が保有する資産の総額は前年比で **16.7%**減少し、**3.2** 兆米ドルとなった。

日本の減少率が比較的穏やかだった背景には、すでに **2007** 年の段階でマクロ経済の成長鈍化が見られたことや、加えて日本の富裕層は一般的に投資姿勢が保守的であり、そうした姿勢が **2008** 年に損失が限定された一因となった。

日本は引き続きアジア太平洋地域における最大の富裕層市場であり、同地域の富裕層人口の約 **57%**を占め、保有資産では約 **43%**を占めている。

¹富裕層とは、主たる住居、収集品、消費財および耐久消費財を除いて 100 万米ドル以上の投資可能資産の保有者と定義される。

アジア太平洋地域の富裕層人口は、世界経済の悪化と市場の混乱により 2008 年末時点で前年比 14.2%減少し、240 万人となった。また同地域の富裕層の保有資産は、22.3%減少し、7.4 兆米ドルとなった。

3,000 万米ドル以上の資産を保有する超富裕層²は、富裕層全体よりも大きな痛手を受けた。アジア太平洋地域の超富裕層人口は 29.6%減の 1 万 4,300 人となり、その保有資産は 35.1%減少した。

「アジア太平洋地域では全体的に富裕層人口および保有資産が減少したものの、その多種多様な経済の存在や富裕層の行動の変化は、アジア太平洋地域が北米と欧州を超えて、世界で最も高水準の資産を保有する態勢にあることの兆候である。」とキャップ・ジェミニ・フィナンシャル・サービスのマネージングディレクター、バートランド・ラヴェイシェールは述べた。

富裕層の資産は日本と中国に集中

日本と中国は、引き続きアジア太平洋地域の富裕層人口と保有資産において、大きな割合を占めている。2008 年末時点で、日本と中国を合わせると富裕層人口全体の 71.9%、資産全体の 65.8%を占め、それぞれ前年の 68.8%、62.4%から上昇した。

中国は、株式時価総額の大きな減少にもかかわらず、市場の閉鎖的な性質と経済の相対的な力強さにより、この地域の他の国々で見られた富裕層人口の大幅減少を免れた。中国の富裕層人口は 11.8%減の 36 万 4,000 人、その保有資産は 20.7%減の 1.7 兆米ドルとなった。しかしながら、中国の富裕層人口は 2008 年に英国を抜き、世界第 4 位となった。インドの富裕層人口は前年比で急減し、31.6%減の 8 万 4,000 人となった。

香港の富裕層人口は減少率において世界最大の打撃を受け、61.3%減の 3 万 7,000 人となった。それでもなお、香港の富裕層 1 人あたりの平均保有資産は 490 万米ドルであり、アジア太平洋地域全体の平均である 310 万米ドルに比べ、大幅に高い水準にある。

「前例のない厳しい市場環境の下、香港の富裕層人口は過去 2 年で増加した分が帳消しとなった。」とメリルリンチ・ウェルス・マネジメントの中国圏マーケット・マネージング・ディレクターのフランシス・リウは述べた。「今後を展望すると、経済の回復や海外資本の香港市場への継続的な流入により、香港で富の蓄積が再開すると見込まれる。」

中国とインドがアジア太平洋地域の富裕層資産の成長を牽引する

アジア太平洋地域の富裕層人口とその保有資産の伸びは、市場環境が改善するにつれて、次第に好転すると見込まれる。この地域の経済は回復の兆しを見せ始めており、2010 年までに世界経済を上回るペースで成長する見通しである。

中国とインドは力強い内需と増加している一般富裕層に支えられて、アジア太平洋地域の富裕層の増加を牽引することになるだろう。この地域全体の 2018 年までの富裕層資産の伸び率は、世界平均の年率 7.1%を上回る、年率 8.8%と予想されている。

²超富裕層とは、主たる住居、収集品、消費財および耐久消費財を除いて 3,000 万米ドル以上の投資可能資産の保有者と定義される。

「中国とインドが牽引し、日本が引き続き重要な富裕層市場であり続けることから、アジア太平洋地域は、世界の富裕層資産の成長において重要な原動力となるだろう。」とメリルリンチ・ウェルス・マネジメントのアジア太平洋地域ウェルス・マネジメント責任者のアントニー・ハンは述べた。「この地域の多種多様な経済は、ウェルス・マネジメント会社にとって著しい成長の機会を提供している。」

富裕層は現預金と国内投資を選好した

2008年、アジア太平洋地域の富裕層は資産保全のための行動として、より安全で、よりシンプルな投資への配分を増やした。キャッシュベース投資の保有比率は、前年の25%から29%に上昇した。現預金への配分比率が最も高かったのは台湾の41%だった。

アジア太平洋地域の株式市場の下落に伴い、富裕層も株式の処分売りを加速させ株式保有が減少した。2008年末時点で富裕層の保有資産全体に占める株式保有比率は、23%となり、前年に比べ3ポイント低下した。香港の富裕層は株式への配分比率を前年の33%から21%へと大幅に引き下げ、同様にオーストラリアの富裕層も38%から25%へと引き下げた。

グローバル市場の不透明性により、この地域の富裕層が他の地域への投資を敬遠するようになり、結果として、地域内投資および国内投資は53%から67%へ拡大した。

「アジア太平洋地域の富裕層にとって、短期的には資産の保全が引き続き優先事項となるだろう。市場が回復し、リスク選好が戻ってくるに従い、よりバランスの取れた投資アプローチを採用し、徐々に他の地域への投資配分を増やすことが予想される。」とキャップ・ジェミニ・フィナンシャル・サービス、グローバル・ビジネス部門のアジアセールス責任者、アーヴィン・サンダルサンは述べた。

* * *

三菱UFJメリルリンチPB証券について

三菱UFJメリルリンチPB証券は、三菱UFJフィナンシャル・グループとメリルリンチ・グローバル・ウェルス・マネジメントが日本において資本を保有する合弁会社です。個人富裕層およびミドルマーケットの法人を対象に、ウェルス・マネジメント・サービスを提供しています。三菱UFJメリルリンチPB証券の詳細については、www.muml-pb.co.jp をご参照ください。

メリルリンチ・グローバル・ウェルス・マネジメントについて

メリルリンチ・ウェルス・マネジメント(MLGWM)は、世界各国の個人と企業を対象に総合的なウェルス・マネジメントと投資サービスを行うトップクラスの国際的プロバイダーである。2009年7月17日時点で、およそ15,000人のファイナンシャル・アドバイザーを擁し、1兆2,000億ドル以上の顧客資産を預かるMLGWMは、業界において世界最大級の一つである。MLGWMの資産の3分の2以上は、100万ドル以上の純資産を保有する顧客からの預かり資産である。MLGWM傘下のプライベート・バンキング・インベストメント・グループは、ブティックに関する造詣と第一級の国際的金融サービス会社の資源を備え、超富裕層の各顧客に適したソリューションを提供している。これらの顧客に対しては、160以上のプライベート・ウェルス・アドバイザー・チームに加え、投資運用管理、集中的株式管理、世代間資

産移転戦略などの分野のエキスパートがサービスを提供している。メリルリンチ・ウェルス・マネジメントは、バンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの傘下にある。

キャップジェミニについて

キャップジェミニは、コンサルティング、テクノロジー、およびアウトソーシングの各サービス分野において世界でも有数のプロバイダーであり、テクノロジーを活用して顧客の変革、および業績向上を支援しています。コラボラティブ・ビジネス・エクスペリエンスと名付けた独自の手法、および競争力のある価格で正しい経営資源を正しい場所において提供するグローバル・デリバリー・モデル、**Rightshore®**を通じて、顧客が高水準の業績を達成する自由度を上げるための洞察や能力を提供します。世界 30 ヶ国に拠点を置き、2008 年の世界全体の通期収益は 87 億ユーロで、従業員数は 90,000 人。

詳細な情報は、下記ホームページをご覧ください。

www.capgemini.com

キャップジェミニのフィナンシャル・サービス・グローバル・ビジネス・ユニット

(FSGBU) は、業界に関する深い経験、高度化したサービス・オファリング、次世代のグローバル・デリバリーを活用して金融サービス業界のニーズに応えます。FSGBU は、12,000 人の専門化ネットワークにより、世界で 900 社を超える顧客企業に対し、銀行、保険、および資本市場の各業界におけるリーディング・カンパニーと協働し、有形資産価値の創造に取り組んでいます。より詳細な情報は、下記ホームページをごらんください。

www.capgemini.com/financialservices

2009 年ワールド・ウェルス・レポートのダウンロードはこちらから。

www.capgemini.com/worldwealthreport.

#